

医療法人清風会 ホスピタル坂東のご紹介

目指せ薬のスペシャリスト！！



<ホスピタル坂東について>

ホスピタル坂東の特徴



ホスピタル坂東は精神科病院と内科・整形外科を軸とする地域病院の2つの機能をもつユニークな病院です。これにより、

・精神科単科の病院では対応困難なCTやMRI、消化管内視鏡の各種検査や内科的治療、大腿骨頸部骨折などの外科的治療が可能な**精神科身体合併症病棟**



MRI 室



CT 室

・救急の精神疾患に対応可能な**精神科救急病棟**

・高齢化に伴って増加している認知症に対応可能な**認知症治療病棟**

・内科疾患や整形外科疾患に対応可能な**一般急性期病棟**

・他の医療機関で急性期治療を終えた方も受け入れ可能な**一般療養病棟**



救急外来エントランス

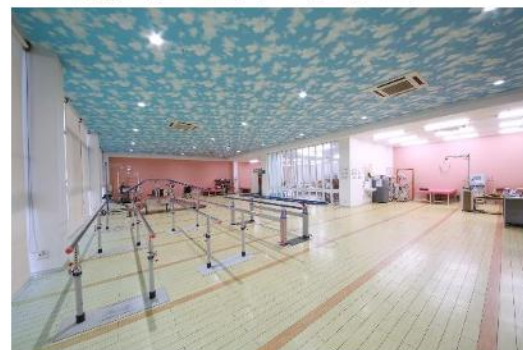
といった特徴的な病棟を有しています。

8号館 病棟

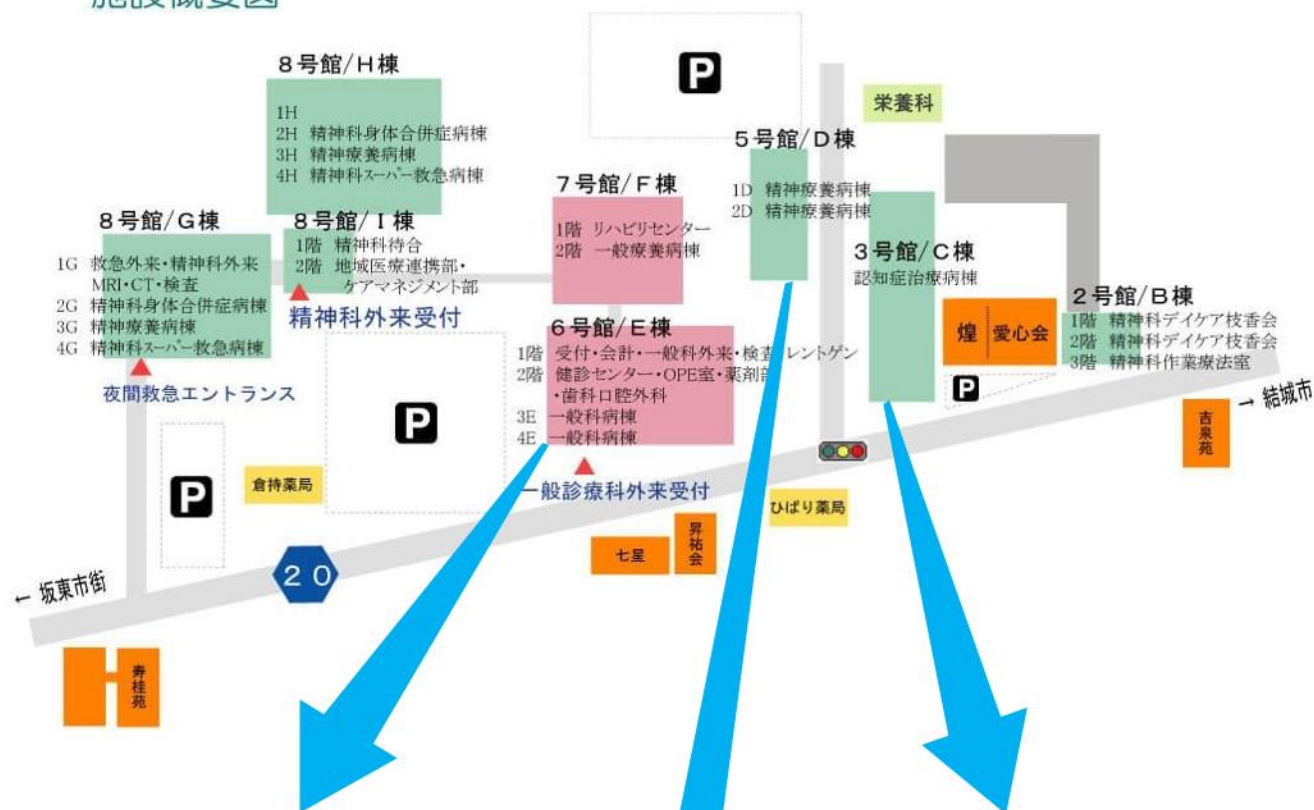


病棟ナースステーション

7号館 リハビリテーション室



施設概要図



6号館 外来受付



3号館(認知症治療病棟)



6号館 エントランス



5号館(精神科療養病棟)

坂東市

茨城県の南西部に位置し、利根川を挟んで千葉県野田市と接する茨城県への玄関口。
首都 50km 圏内に位置し、全域が首都圏近郊整備地帯に指定されている。
人口約5万人。名産品はさしま茶、野菜・果物など。



市のキャラクター：
将門くん

坂東 IC から降りてすぐ！



坂東市 将門まつり(毎年 11 月の第 2 日曜日に開催)



さしま茶畑



八坂公園の桜

薬剤部

・勤務者(2025 年 10 月現在)

薬剤師 5 名(常勤:3 名、非常勤:1 名、筑波大学附属病院からの出向者:1 名)
調剤助手 2 名

・業務の概要

業務内容	業務量
調剤(内服・外用)	処方箋:約 2000 枚/月
調剤(注射)	処方箋:約 1900 枚/月
無菌製剤調製	TPN 調整:約 50 件/月(変動が大きい)
DI 業務	新規マスタ登録:約 5 件/月
委員会	薬事委員会:1 回/月 RM 委員会:1 回/月 医療安全管理委員会:1 回/月 労働安全衛生委員会:1 回/月 摂食機能委員会:1 回/月
病棟薬剤業務	持参薬確認:約 60 人/月
感染対策チーム(感染症対策委員会)	会議・ラウンド:4~5 回/月



<注射室>

モニター上で医師がオーダーした注射処方を処方箋出力し、該当薬剤を集めて病棟ごとに注射カートにセットする。



＜調剤室＞

モニター上で医師がオーダーした内服処方を処方箋出力し、薬剤師が調剤・監査を行う。監査終了後の薬剤は、各病棟の搬送担当者に渡す。

ホスピタル坂東 薬剤師募集要項



募集人数・雇用形態	2人
応募期間・選考方法	令和8年4月1日～
応募書類	履歴書、卒業見込み(証明書)、薬剤師免許の写し(卒業見込みの方は不要)
勤務地	茨城県坂東市沓掛411
勤務体制	<月～金曜日>9:00～17:00 <土曜日>9:00～12:30
業務内容	調剤業務、注射セット業務、無菌調整業務、薬剤管理指導業務、薬品管理業務、医療チームへの参加(ICT、摂食嚥下チーム等)
研修・教育 (取得できる認定資格)	・日本病院薬剤師会:病院薬学認定薬剤師、精神科薬物療法認定薬剤師、精神科専門薬剤師、感染制御認定薬剤師、感染制御専門薬剤師 ・日本化学療法学会:抗菌化学療法認定薬剤師 ・日本薬剤師研修センター:漢方薬・生薬認定薬剤師
休日・休暇	日曜日 祝祭日 隔週土曜日(シフト制) 年末年始(12/30～1/3) 年間休日数 112日
給与・手当	基本給 270,000 (手当等を含む)
昇給・賞与	昇給:年1回(4月) 賞与:年2回 6月、12月
被服	白衣支給
福利厚生等	社会保険、厚生年金、厚生年金基金、雇用保険、労災保険、企業型確定拠出年金
応募・問い合わせ先 ホームページ	〒306-0515 茨城県坂東市沓掛411 ホスピタル坂東 担当 総務課 連絡先 0297-44-2000 ホームページ https://www.hp-bando.jp
病院概要	【病院概要】 病床数: 470床 (一般病棟60床、療養病棟50床、精神科救急病棟60床、精神科身体合併症病棟70床、認知症治療病棟50床、精神療養病棟120床) 職員数: 350人(内薬剤師5名) 診療科: 内科、外科、精神科、神経内科、整形外科、皮膚科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、脳神経外科、リハビリテーション科、歯科・口腔外科

<病院薬剤師卒後研修プログラム概要版>

1 プログラムの名称

ホスピタル坂東 病院薬剤師卒後研修プログラム

2 プログラムの目的と特色

本プログラムは、精神科・内科・整形外科を主要診療科とするホスピタル坂東において、病院薬剤師としての基礎的な知識・技能・態度を習得し、多職種と協働しながら、患者一人ひとりに寄り添った医療を提供できる薬剤師を育成することを目的とする。

また、本プログラムの特色として、病院全体の薬剤業務に幅広く関与できる環境を活かして実践力を養うとともに、大学病院との連携により専門的な知識を深める機会を提供する。

3 研修プログラム責任者の設置

薬剤副主任(薬剤部内の最高責任者)が研修プログラムの責任者となる。

研修関連実務を統括し、研修プログラムの企画・立案及び実施管理、並びに研修者に対する助言、指導その他の援助を行う。

4 就労環境

(1)勤務病院の宿舎	なし
(2)薬剤師賠償保険	個人で加入
(3)学会、研究会等への参加	可(交通費等、一部支給あり)
(4)勤務病院で指導薬剤師が取得している専門・認定薬剤師の資格	日病薬病院薬学認定薬剤師 (0人 ※2028年度取得見込み)
(5)取得可能専門・認定薬剤師 ★勤務病院 *協力病院	★日病薬病院薬学認定薬剤師 ★精神科薬物療法認定薬剤師 ★*精神科専門薬剤師 (学会発表・論文投稿は協力病院によるサポートあり) ★感染制御認定薬剤師 ★*感染制御専門薬剤師 (学会発表・論文投稿は協力病院によるサポートあり) ★抗菌化学療法認定薬剤師 ★漢方薬・生薬認定薬剤師
(6)協力病院	筑波大学附属病院
(7)協力病院の宿舎	あり(月額自己負担1~3万円)
(8)協力病院での給与	研修の希望に応じて都度協議する

5 指導体制

プログラムが円滑に実施されるように、指導薬剤師が指導の上、研修者の研修到達度を評価する。なお、指導薬剤師は当院での勤務歴5年以上の者が担当する。

筑波大学附属病院での研修期間中は、各専門分野の薬剤師による指導と評価を受ける。

6 プログラムの計画

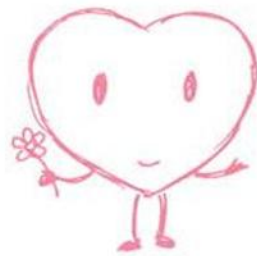
1年目	調剤、注射、医薬品管理、DI業務、病棟業務の基礎を習得する。
2年目	チーム医療に参加し、多職種との連携を通してより高度な知識を習得していく。 希望に応じて筑波大学附属病院での研修を経験する。
3～4年目	日病薬病院薬学認定薬剤師の資格を取得する。 専門領域を選択し、各認定・専門薬剤師の資格取得に必要な症例・実績を整え学会発表も経験する。
5～6年目	必要な症例や実績を蓄積し、認定薬剤師の資格を取得する。 希望に応じて筑波大学附属病院における専門的な研修や、症例・実績収集の機会を得ることができる。
7～9年目	学会発表や論文投稿を経験し、専門薬剤師の資格を取得する。 認定・専門薬剤師として培った知識を日々の業務に活かし、チーム医療に貢献しながら、治療の質および患者 QOL の向上を図る。

研修項目・期間のイメージ

必修研修項目

選択研修項目

1年		2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
ホスピタル坂東		ホスピタル坂東								
		筑波大学附属病院(希望に応じて、随時見学・研修可)								
(1) オリエンテーション	(2) 調剤業務									
	(3) 医薬品の供給 と管理業務	(4) 医薬品情報管理業務								
			(5) 病棟業務							
	(6) 医療安全									
	(7) 感染制御									
		(8) 地域連携 (病院と調剤薬局の連携)								
	(9) 認定薬剤師の認定、更新									
			(10) 院内における他職種との連携							
	(11) 臨床研究									
(12) 無菌調製				(13) がん化学療法						
	(14) TDM (Therapeutic Drug Monitoring)業務									
(15) ICU・小児・産婦人科・精神科										
			(16) 専門・認定薬剤師の取得							
			(17) 緩和医療							
			(18) 高齢者医療							



お待ちしております